

口語詩句総評11月

いつもはユーモアたっぷりの作品を紹介してきましたが、11月は、ナンセンスだけでなく、不思議なセンスのある作品を選んでみました。

水のないプールにも浮かぶ悲しみ ——宇井麻千（大阪府）

高橋さん、
そっちには北極しかないよ ——青木雅（埼玉県）

あなたの言葉が鳥居をくぐる時
わたしは絶滅した恐竜に出会う ——宇井麻千（大阪府）

雨上がりの深い森を泳ぐ紋白蝶 ——宇井麻千（大阪府）

「ごみ箱を空にする」
「初雪が降る」 ——細村星一郎（東京都）

まめめすすししままちこ
ちりりかかごごままちこ
こいいかかここままちこ ——宇井麻千（大阪府）

辞書は循環論法で話し
言葉なんて
(部屋に空集合がいます)

誰にも伝わらない ——桐口鈴汰（北海道）

詩を詠むと死刑になる
星に生まれた私の夕焼けは
ただの夕焼け ——宇井麻千（大阪府）

ひとりも死んでいない新聞を
読んでみたい ——宇井麻千（大阪府）

伝説の詩のレシピが届いた
どうやら文字ではないようだ ——宇井麻千（大阪府）

以上です。作者名をまったく知らずに選んで、最後に名前を調べたのですが、ずいぶんと偏ってしまったようです。次回からは、なるべく多くの方に登場してもらおうと思います。今回はごめんない。

ことしはコロナ漬けの年でしたね。素敵な作品をお待ちしています。

秋亜綺羅

aa@akiakira.com